

4. ASEAN における透析医療の推進

— マレーシアにおける展開モデル事業 —

国立研究開発法人 国立国際医療研究センター（NCGM）

【現地の状況やニーズなどの背景情報】

- ASEAN 諸国では、今後、糖尿病患者の増加等により、末期腎不全に陥る患者の急増が予想されている。しかし、一部の富裕層を除き ASEAN 諸国では透析を受けられずに亡くなっている患者やクオリティの低い透析を受けている患者が多い。
- わが国の透析医療は世界でトップレベルにあり、透析導入後の予後も欧米諸国より良好である（DOPPS 調査；Good DA et al. J Am Soc Nephrol 14: 3270-3277, 2003）。
- そこで、国立国際医療研究センター腎臓内科と透析室スタッフのチームが核となり透析医療関連企業ともコラボし、模範的な血液透析のあり方を指導して現地の透析スキルを向上させるとともに、わが国の透析医療技術・機器を ASEAN で浸透させるための礎を構築する。

【活動内容】

- マレーシア ペナン州 Buddhist Tzu-Chi Merits Society Malaysia の透析センターとタイアップする。
- わが国で行われているハイレベルの透析医療を実現できるよう、NCGM 腎臓内科医師や透析室スタッフが現地に赴き視察や講義を行うほか、先方の病院スタッフを数名受入れてわが国の透析医療について講義を行うほか、見学・体験・学習してもらう。
- 上記施設以外にも、財力に余裕があってわが国のハイレベルな透析医療技術を導入したい病院に関するサーチも合わせて行う。
- NCGM スタッフと透析関連企業エキスパートらが一体となって（コンソーシアム化）現地に赴き、日本製の透析器材を活用して、模範的な血液透析のあり方を示す（デモ）。上質な透析方法が他の多くの透析施設でも実践できるよう均質化および普及の為の活動を継続して展開する。

【期待される成果や波及効果等】

1) わが国のハイレベルな透析医療の指導、普及。2) カウンターパート透析スタッフのレベルアップ。3) 透析関連機器・製薬関連メーカー進出の基礎構築

●その他の目標

1) ペナン州と日本、国立国際医療研究センター間における医療連携の礎を築く。2) わが国の医療（特に透析、腎領域）の普及に努める。3) 透析関連領域におけるわが国の医療機器・器具、製剤の販促につながる環境、土壌を形成する。
→ 日本製品の輸出拡大。

＜研修実施結果＞

5月 専門家派遣（3名）

- 現地調査、技術指導、講演会・研修生選定

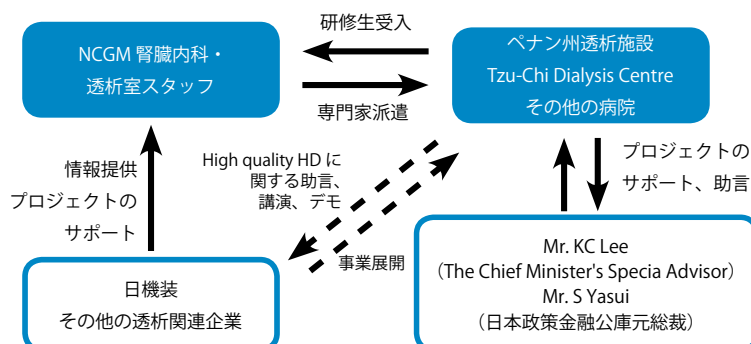
9月 研修生受入（4名）

- NCGM で血液透析の技法、安全・感染管理、電子化の研修・ハイレベルの透析のあり方の講義（NCGM スタッフ、メーカー）

- 市中の透析施設、他病院見学

12月 専門家派遣（4名）×1回

- 現地での技術指導、講演
- カウンターパート及び他病院で日本式透析のデモンストレーション



私どもの事業は、ASEAN における透析医療の推進、ペナン州における展開モデル事業です。まだ昨年度から始まったばかりですので、初期段階ではありますが、1 年間の活動についてご報告させていただきます。

背景ですが、ASEAN 諸国では糖尿病患者の増加により、今後、末期腎不全に陥る患者の急増が予想されております。しかしながら、国によっては一部の富裕層を除き、透析を受けられずに亡くられる患者さんや、クオリティの低い透析を受けている患者さんが多くいます。幸い、我が国の透析医療は世界でもトップレベルですので、国立国際医療研究センターの腎臓内科と透析室のスタッフがチームとなって透析医療関連企業ともコラボし、模範的な血液透析のあり方を指導して、現地の透析スキルを向上させるとともに、我が国の透析医療技術・機器を ASEAN で浸透させるための礎を構築することを目標としております。

マレーシアの中でペナン州に拠点を置くことができました。ペナンに詳しい方や首席大臣、特別補佐官などのご紹介によって、Tzu-Chi Dialysis Centre というところをメインのカウンターパートとして指定されましたので、そちらで活動を始めました。ハイレベルの透析医療を実現できるように、ペナンのその他の透析施設 4 か所にも行きました。将来的には、日本の透析機器や検査装置、医療器具、医薬品などをさらにプロモーションできるように、その礎を築いていくことを考えております。また、基本的には私どもだけではなく、透析関連企業のエキスパートにも手伝っていただいて、実際に講義をしたり、視察・指導をしたりするだけでなく、デモも実施させていただきました。そして一部の透析施設には、日本に来ていただいて実地研修・見学も行いました。

目標は、重複になりますが、私どものチームが中心となって、関連企業とコラボして指導に行きます。また、日本の実情も知っていただくために、日本に来ていただいて実地研修・見学も行っていただきます。そして透析関連企業がそれを軸に海外進出の足がかりにするというイメージで活動しております。

第1回マレーシア訪問 (May 23 - May 29, 2016)

活動内容

- ・Tzu-Chi Dialysis Centre (Major counterpart) にて
 - ① 透析現場視察
 - ② 講義 (「日本の透析の現状」「感染・安全管理」「日本の透析医療の保険制度」「透析スタッフの役割」「日本の透析医療機器」)
 - ③ 合同ディスカッション (日マの透析の違い、日本独自の透析方法、質疑応答・意見交換)
 - ④ 親善・交流
- ・以下4つの透析施設も訪問：現場視察と簡単な講義、意見交換を実施
 - ① Loh Guan Lye Specialists Centre (富裕層向け民間病院)
 - ② Adventist Hospital (キリスト教系民間病院)
 - ③ Island Hospital (富裕層向け民間病院)
 - ④ Fo Yi-NKF Hemodialysis Centre (一般人向け NPO 施設)
- ・ペナン州 首席大臣 (Mr. Lim Guan Eng) や首席大臣特別補佐官 (Mr. Lee Kah Choon) に面会
- ・在マレーシア日本大使館訪問、在ペナン日本総領事館訪問、JICA クアラルンプール事務所訪問

第1回のマレーシア訪問についてご報告します。メインカウンターパートの Tzu-Chi Dialysis Centre に伺いまして、

日本の透析の現状や、感染・安全管理、日本の透析医療の保険制度、透析スタッフの役割、日本の透析医療機器などの講義を行ったほか、合同ディスカッション、そして親善・交流を行いました。また、その他の4つの透析施設としては、富裕層向け病院2つと、中間層向けのキリスト教系民間病院、比較的貧しい層の一般向け NPO 施設に行きました。そして、ペナン州首脳陣や日本大使館、JICA 事務所などにも訪問しました。



こちらが Tzu-Chi Dialysis Centre に行った時の写真です。私と我々の透析スタッフ、関連メーカーの方、Tzu-Chi の事務の幹部、透析のマネージャー、看護師長らです。



こちらは、アイランド病院というところの水処理装置と機械室の様子です。実際に機械室に入らせていただいて、それぞれの病院がどういうレベルでどのようなことを行っているかを確認しております。

Tzu-Chi Dialysis Centre スタッフの訪日研修 (Sep 26 – Sep 30, 2016)

研修内容

- ・National Center for Global Health and Medicine にて
 - ① 病院見学
 - ② 講義（「日本の透析医療について」「保存期の CKD について」）
 - ③ 透析室の見学、現場スタッフとの質疑応答
 - ④ 研修終了発表会
- ・他の透析施設、ショールームの見学
 - ① JCHO 山手メディカルセンター透析室
 - ② 下落合クリニック
 - ③ 日機装ショールーム
- ・研修レポートの提出

訪日研修は、メインカウンターパートの Tzu-Chi Dialysis Centre の方々に NCGM に来ていただき、学んでいただきました。病院見学だけではなく、日本の透析医療全般や、透析に至るまでの保存期の腎不全の管理について講義を行いました。そして実際の透析の現場では、かなり時間を割いて臨床工学技士や看護師、現場の若手ドクターと質疑応答をしていただきました。そして研修終了発表会を行いました。また、幅広く色々な透析センターを見ていただくために、JCHO 山手メディカルセンターの透析室や、市中のかなり整備されていて管理も行き届いた下落合クリニック、日機装のショールームなども見ていただきました。



こちらは、NCGM の透析室での実地研修の様子です。左の写真の3名が Tzu-Chi Dialysis Centre の看護師さんです。右の写真は、当院の透析室の機械室見学の様子です。

第2回マレーシア訪問 (Dec 14 - Dec 17, 2016)

活動内容

- ・Tzu-Chi Dialysis Centre (Major counterpart) と Adventist Hospital を再訪問し、現場の実状を確認
- ・ジョージタウン（ペナン島中部）のホテルで透析機器と使用器具のデモンストレーションを実施（NCGM および日機装/現地代理店の共催）
 - ① Tzu-Chi Dialysis Centre の看護師と事務幹部
 - ② Adventist Hospital の看護師
 - ③ Hospital Balik Pulau（政府系地方病院）の医師と技師
 - ④ Bagan Specialist Centre（本土にある民間病院）の看護師
- ・在ペナン日本総領事館の総領事やスタッフと交流

研修とデモのためにマレーシアにもう1度行っております。ホテルの一部屋を借りてデモを行いました。日本製の透析機器を置いて、水を流すところまでは行いませんでしたが、実際に現場の状況に合わせた対応を見せました。また、一部測定器や、日本の高度な穿刺針などの用具を見ていただき、機械の使い方をメーカー代理店の方に説明していただきました。呼びかけに応じて集まったのは、Tzu-Chi Dialysis Centre、アドベンティスト病院のほか、5月には訪れなかった政府系のバリクピューロー病院、マレーシア本土にある民間病院のバガンスペシャリストセンターの医師や看護師の方々と、皆さん勉強して帰ってくれました。



こちらは、デモの時の写真です。Tzu-Chi Dialysis Centre はメインカウンターパートであり、非常に友好的な関係にありますので、若手の看護師さんをはじめ、大勢の方が集まってくれました。



こちらは、アドベンティスト病院の看護師さんたちです。主任看護師さんたちに実際に説明しているところです。



こちらは政府系のバリクビューロー病院とバガンスペシャリストセンターのスタッフです。研修を終えて記念撮影をしたところです。

まとめ

- 1) 2016年5月 ペナンを訪れメインカウンターパートの Tzu-Chi Dialysis Centre のほか、タイプの異なる4透析施設を訪問し、透析の実施方法やクオリティ、安全・感染管理について調査・指導し意見交換を行った
- 2) 2016年9月 Tzu-Chi Dialysis Centre のスタッフ計4名が訪日し、NCGM 人工透析室のほか、日機装ショールーム、山手メディカルセンター、下落合クリニックを見学した。院内研修では、わが国の優れた透析方法や管理のあり方について研修してもらったとともに、日マの透析方法の違い、今後の課題点等々に付き議論した
- 3) 2016年12月 ジョージタウンのホテルでペナンの透析施設向けに透析に関するデモンストレーションを実施した。4透析施設から計20名近くのスタッフが集まりデモを見学・実習した
- 4) 透析レベルの向上や地域内のレベルの均等化は、訪問指導と呼び寄せ研修の継続により確実に実現できる。今後は、ペナン中心部に限らず周辺地域にも対象範囲を広げ指導を継続していきたい
- 5) わが国の透析関連機器や医療器具、製剤等の受入れ促進についても貢献していきたいが、現地の実状が分かってきたので、次年度以降、関係者ともよく相談のうえ戦略を練っていく予定である

まとめですが、2016年の5月からペナンを訪れて、メインカウンターパートの Tzu-Chi Dialysis Centre のほか、タイプの異なる4つの透析施設を訪問して、透析の実施方法やクオリティ、安全・感染管理について調査・指導して意見交換を行いました。9月には、Tzu-Chi Dialysis Centre から4名のスタッフが来日し、日本国内で色々な研修や見学を行いました。12月にはペナン島のホテルでデモンストレーションを行い、日本の透析医療の良いところを学んできました。

実際に現地に行って感じることは、マレーシア国内では透析医療も全体の医療機器においてもレベルが様々であるということです。遅れているところもあれば、非常に発達して日本と差がないところもあります。今後、継続して訪問指導と呼び寄せ研修を行っていけば、さらに透析レベルの向上と地域内のレベルの均てん化を望めると思います。

そして今後は、日本の透析関連機器や医療器具、製剤等の受け入れ促進についても貢献していきたいと思っております。現地の実情も分かってまいりましたので、その実情を踏まえて戦略を練っていききたいと思います。また、マレーシアだけでなく、次年度も活動できればミャンマーなどでも行っていきたいと考え、計画を立て始めております。

以上です。ありがとうございました。